

福祉だより



●発行/北六甲台地区社協●発行日/偶数月●編集/北六甲台地区広報部●配布エリア/北六甲台・上山口東

第96号
平成29年12月21日

西宮市北六甲台地区
社会福祉協議会
会長 日高 昭夫



各団体の活動状況や個人の作品展示が行われ、私自身が初めて見聞きする団体もあり、いろいろな方が活動されていることを知りました。また、個人の作品展示では、

各団体、個人の作品展示

一月二日から五日までの四日間、北六甲台コミュニティセンター（以下、コミセン）と自治会館で、北六甲台自治会主催の文化祭が開かれました。

平成29年度

北六甲台文化祭

秋晴れのもと、和やかに文化の花開く

ふれあい喫茶と子供こし

ベルの高さを感じました。文化祭最終日の五日、コミセンにて北六甲台地区社協の「ふれあい喫茶」が開かれ、展示作品を見に来られた後、たくさんの方がコーヒーを飲みながら歓談されていました。



外から賑やかな声が聞こえ、何かと見比べてみると、子供みこしが帰ってきたようす。微笑ましさを感じました。内容の濃い、盛況な文化祭でした。

「どうや！えー天気やろ。晴れ男の俺のおかげや！」とある人が言う通り、今年の文化祭も素晴らしい好天に恵まれました。

一月一日（土）、一二日（日）の二日とも良い天気の中、多くの皆さまにご参加いただきました。絵画、書道、生け花、キルトのパッチワークなどの展示と共に、佐藤会長による演奏、コスモス会を中心としたカラオケ会など、いつも通りの賑やかな文化祭となりました。

野外での焼きそば、おでんのコーナーも大盛況のうちに、今年の文化祭も晴れやかに、無事終了しました。

（坂下副会長）



（坂下副会長）

上山口東文化祭

俺が「晴れ男や！」



「ふるさと山口」の講演
三日、コミセンにて郷土史研究家の日高昭夫さんの講演が行われました。わが町山口町の史跡、春夏秋冬の地域の風景、野鳥等の生態、歴史...。初めて聞く話に思わずのめり込み、講演でいただいた資料をもとに山口町を散策したくなりました。

（広報部 小出 晴浩）

鳥等の生態、歴史...。初めて聞く話に思わずのめり込み、講演でいただいた資料をもとに山口町を散策したくなりました。

（広報部 小出 晴浩）

住民十色

地域の子とみたちを見守り続けて

補導委員 守本 博さん

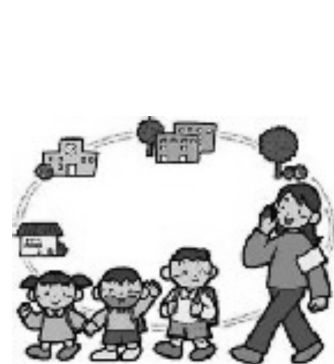


毎週木曜日の午後四時。北六甲台コミュニティセンター前には、蛍光色の黄色いベストを着用した五名の方が集まっています。西宮市青少年補導委員（以下、補導委員）として、週一回巡回補導をされているメンバーです。今回は、北六甲台小学校地区で補導委員の代表をされている守本さんにお話を伺いました。

守本さんが補導委員となられたのは、今から七年前。定年退職後、「何か地域貢献をしたい」と考えていらつしやうとしたところに、青少年愛護協議会（以下、青愛協）からお声がかかったそうです。

「青愛協からの派遣で補導委員を引き受けたのがきっかけでした」と守本さん。以来、地域の子とみたちのために地道な活動を続けておられます。補導委員の主な役割は、地域の子とみたちの見守り。北六甲台小学校地区を五つのエリアに分け、週替わりで各エリアを巡回補導に回られるとのこと。毎回、約一時間半ほど歩くそうです。

住宅が多いわが校区の主な巡回場所は公園です。「巡回補導をするようになって、公園に遊びに来た子どもと顔見知りになった」と優しい表情で話される守本さん。活動を始めた頃は、声をかけた子どもが走って逃げだすハプニングもあったとか。新任時に、まず声のかかけ方の講習を受けられたとのこと。その成果もあってか、今では子どもたちの方から声をかけてくれるそうです。



（広報部・小澤 薫）

補導委員は、巡回補導のほか年に2回ほど学校の先生方やPTAとの連絡会に出席し、情報の共有化を図っているとのこと。学校と補導委員が連携して地域の子とみを見守ってくださっていることがわかり、子どもを持つ私もホッと一安心。地域と学校、そして家庭が一体となって子どもの見守りをしていくことは、共働き家庭が増えている現代社会において、必要なくみではないかと感じました。

「子どもだけでなく、地域で暮らす人全体を見守りたい」。そう語ってくださった守本さん。長年歩いてこられた脚力と洞察力で、「これからも「地域を見守る目」として活躍してくださることでしょう。」



「丸山パノラマ健脚コース約二時間四十分」「社寺歴史散策コース約二時間一十分」「有馬川緑道らくらくコース約一時間」

ウォークラリーは、「丸山パノラマ健脚コース約二時間四十分」「社寺歴史散策コース約二時間一十分」「有馬川緑道らくらくコース約一時間」

ウオークラリーは、「丸山パノラマ健脚コース約二時間四十分」「社寺歴史散策コース約二時間一十分」「有馬川緑道らくらくコース約一時間」

西宮山口アルミカーニバル2017の報告

一月一九日の日曜日、山口地域活性化推進委員会主催の「西宮山口アルミカーニバル2017」が開催されました。二〇一二年の第一回開催以降六回目の開催です。

北六甲台地区社協も委員会メンバーとして参加し、ウォークラリーのコースガイドの役割を引き受けています。今回も私と地区社協監事の上田さんがガイド役として参加しました。

担当した丸山コースには一〇〇名もの参加者が列をなしました。九時半にスタートし到着は二時二〇分でした。

ゴール後は、「あるきな一列市」や孝徳帝行幸行列とステーションお披露目など、盛りだくさんのイベントがあり、西宮南部をはじめ五二〇名余りの参加者がありました。

（日高）

ふれあい交流会のお知らせ

日時 1月19日（金）11時30分～
（バスの送迎あります）
会場 サンパレス六甲
対象 75歳以上の方
内容 落語・漫才とお食事交流
（後日、案内を配布します）

安心キットアンケート報告

ボランティアセンターからの報告

【安心キットとは】

緊急の際に救急隊員に患者の情報を伝える方法として考案され、全国で導入が始まっています。ペットボトルサイズの筒に緊急連絡先、かかりつけ医師、薬の情報等を記した票を入れ冷蔵庫に保管し、玄関と冷蔵庫に存在を示すシールを張ります。



安心キットを設置している皆さんに、アンケートを実施しました。

安心キットは、北六甲台地区社協が平成二五年度に導入し、現在約五百世帯に設置されています。導入から三年後の昨秋に皆さんのご意見をお聞きし、今後の対応を図るためのアンケートを実施しました。同時に、平成

二八年に発足した「よりよいサポート」（有償ボランティア）の制度についてのご意見を伺いました。

アンケート配布対象者は七三〇名、回収数は六二七名で回収率は八六％（無回答を含む）でした。安心キットとよりよいサポートについての、主なご意見は次のとおり。

●安心キットの設置は必要だと思いますか？

必要と思う（三八〇）

思わない（七三）

●（必要と思われる方に）知人に紹介したいと思いませんか？

思う（二二七）

思わない（九五）

●実際に利用した方（三）

実際に利用した方の意見「緊急時に患者の情報を救急隊員に伝えることは難しいが、安心キットを提示でき事なきを得た。」

また、設置不要と答えの方は「この三年間使用しなかったから」ということでしたが、安心キッ

トはあくまで緊急時に備えるもので、利用のなかったことは喜ばしいことといえます。

「よりよいサポート」のアンケートでは、認知度の低さがわかりました。高齢化が進行する現状を考えると、多くの皆様に知って頂き、地域の住民どうしが助け合い、共に自立した生活を目指すことが重要な課題です。

そのためには地区社協としての一層の努力が必要で

歳末たすけあい募金
ご協力ありがとうございました
23,601円
の募金を頂きました



北六甲台小学校福祉体験

車イス・アイマスク体験学習に参加して

印南 由起子



一月七日と一五日、北六甲台小学校四年生の総合福祉体験学習として、車いすとアイマスク体験のボランティアに参加しました。

はじめに体育館で自己紹介や市社協担当者による進め方の説明がありました。車イス体験では、校内のルートは初めてで車イスの操作に最初はかなり戸惑っていましたが、次第に上手にコントロール出来るようになっていきました。児童たちの難所は、スロープと段差超えで、後ろ向き操作がかなり難しく、見ていてハラハラした瞬間もありましたが、誰ひとり怪我

もなく終えました。体験してみると簡単なようでコツが必要と実感しました。何よりも、体験役と介助役に互いを思いやる気遣いが無いと怖い体験になりかねません。



一五日のアイマスク体験は、全員ペアで一組みで体験してもらいましたが、目の見えない状況でお互いの声を掛け合っており、真面目に、そして慎重に取り組む姿勢が強く感じられました。

この貴重な体験を機に、福祉への気づきが出来た大人になって欲しいと思います。

第2回ボランティア研修会

認知症サポーター養成講座を受ける！

ボランティアセンター 井上さち子



て不安を取り除くようにすることが必要」など、事例を挙げて紹介されていました。

この講座で、認知症でお困りの方へ少しでもサポートできるような学びとが出来、「認知症サポーターオレシリング」を取得致しました。

オレシリングとは、



手首や靴などに付けて認知症の方や家族の方へ「サポートできます」という目印です。オレシリングをお持ちの方を見かけたら、お気軽に声を掛けて下さい。

山口・北六甲台ボランティアセンター交流会

学び合い、理解を深めた交流

ボランティアコーディネーター 瀬口久美子

冬本番の寒さの中、二月六日（水）十時半より今年で四回目となる「山口地区ボランティアコーディネーター交流会」を開催いたしました。

山口地区の皆様が遠路はるばる（笑）北六甲台山頂までお越しください、参加者は市社協二名、山口地区一〇名、北六甲台地区九名の計二一名。開

催挨拶、自己紹介、各ボランティア活動状況の報告があり、その後、懇談で終了。初めて参加させてもらった私もいろいろ質問させていただき、あっという間の一時間半でした。おもに、「安心キット・よりよいサポート・カーボランティア・いきいき体操」について意見交換をしました。



ボランティア活動とは？

特別な活動ではありません。私たちのまわりや地域に暮らす皆さんが安心して暮らせるために、一人ひとりができる事をできる時に行う活動です。

コーディネーターとは？

福祉に関する相談をお受けし、福祉サービスの紹介や連絡、必要に応じてボランティアの支援、またはボランティアしたい方への活動紹介等を行っております。

